1969年6月28日
第78号
発行　新潟県巻町役場
電話代表(2)3131
編集　商工観光課

住民基本台帳人口
(昭和44年5月31日現在)
総人口　27,538人
男　13,285　〃　14,253人
世帯数　6,024

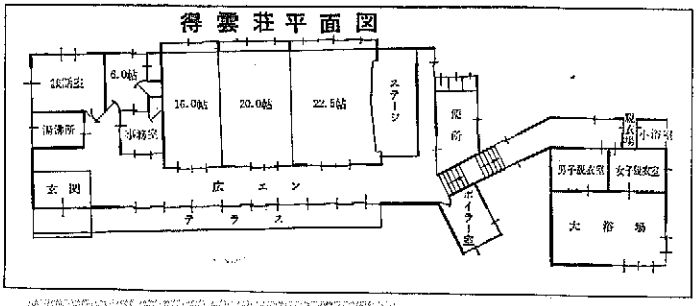
七月の納税

固定資産税　第二期
国民健康保険税　第二期
納期限　七月三十一日

基金も順調に百十六万円

得雲荘(老人いこいの家)起工式終わる

大浴場の眼下に新潟平野



(得雲荘起工式でクワ入れを行なう江端町長)

老人いこいの家「得雲荘」の起工式が六月二十日、江端町長、井沢、玉木の正副議長、水倉建設特別委員長、平出町老連会長らが出席、建設地の仁箇小丸山で行なわれました。

得雲荘の建て物面積が、小丸山敷き地のつごうで若干設計変更を余儀なくされました。町民みなさんに先ごろお配りした趣意書平面図より、三十九・四一平方メートル(十一・九坪)ふえ、木造平屋建て一部鉄骨造り延べ三百五十・七七平方メートル(百六・一〇七坪)になりました。

工費は建て物工事が六百三万三千円、電気工事が七十一万円、給湯工事が二百五十四万三千円、道路工事が四百七十五万一千円、護岸工事が百六十万円で、総工費一千五百六十三万七千円が投入され、すばらしい施設が出来ます。

内部は、十六畳、二十畳、二畳の三部屋をアコーディングドアで仕切り、開放するとステージ付き大広間。角田、弥彦の山なみが望める談話室。風呂にひたりながら新潟平野を眼下に見おろせる大浴場。それに小浴場。などが完備されます。

水庄建設が請負い、老人の日を目前に控えた九月十日ごろ得雲荘は完成の予定です。

町議会が中心となり建設費の基金を町民みなさんや各方面に協力を呼びかけていますが、六月二十日現在寄せられた老人いこいの家基金は次のとおりです。

(敬称略、寄せられた順序)

蒲原ガスKK社長教井栄吉(八区)五十万円、五十嵐三代治(堀山団地)五千一円、本間三男司(二区)一万円、KK亀井商店(二区)二万円、石田清一(二区)一万円、長谷川泰局(二区)五千円、石栄商店(二区)一万円、丸山熊吉(二区)一万円、巻農機製作所(二区)二万円、織原自転車店(二区)一万円、巻町議会議員一同五十六万一千円。

▽累計百十六万一千一円。

公職選挙法変わる

住民登録者に選挙権

公職選挙法、住民基本台帳法の一部が変わり、住民登録をしなければ永久選挙人名簿にのせることができないことになりました。

まだ、住民登録をしていない人は七月十九日までに忘れずに登録をしてください。

現在、選挙人名簿にのっている人でも、住民登録をしていなければ名簿から除かれ、選挙権がなくなり投票できません。

住民登録をしていない人は次の方法で手続きを行なってください。

〔住民登録している場所がはっきりしている場合〕

(1)、住民登録している役所から転出証明書を発行してもらい、役場窓口で転入届をすればよいわけです。

(2)、取り寄せた転出証明書を紛失した場合は、前住所の役所へ再発行を依頼して書類を取り寄せたうえで、転入届をしてください。

(3)、転出証明書をまだ持っている場合は、いくら古くなっても有効ですから、転入届をすませてください。

〔住民登録をしてある場所がわからなくなってしまった場合〕

まず、本籍地の役所の戸籍係に問い合わせてください。(戸籍付票を取り寄せるのも一方法です)

(1)、住民登録してある場所がわかった場合は、住民登録している役所から転出証明書をもらって転入届をしてください。

(2)、住民登録してある場所がわかったが、長年ゆくえが不明だったため「職権消除」になった場合は、住民登録している役所から、転出証明書あるいは住民票の写しをもらってください。

(3)、住民登録をどこにしてあるかまったく不明の場合は、本籍地から戸籍付票を取り寄せて、転入届をすませてください。

〔その他〕

転入届の時、持ってくるものは印鑑と転出証明書その他の書類。わからない点は役場住民課に問い合わせてください。

あなたは今月で70歳

老齢福祉年金が請求できます

あなたは今月の誕生日で満七十歳になられ老齢福祉年金を請求する資格を得られましたので、厚生課国民年金係に問い合わせてください。

なお、今回は明治三十二年六月生まれの方が請求できます。

(敬称略)

割前　内藤　マサ
田伴　羽田　ハヤ
栄町　向井　貞江
四の丁　山田　熊二
竹野町　堀之内正次郎
仁箇　生田　ヨツ

定例町議会終わる

課設置条例ほか審議

昭和四十四年六月定例町議会が六月二十六日から二十七日の二日間開かれました。

会期中に議案十六件、報告四件請願二件が審議されました。(くわしい審議内容は次号掲載)

提出された主な議案は次のとおりです。

。巻町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

。巻町課設置条例の一部を改正する条例の制定について

。巻町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

。教育に関する事務の受託に関する協議について

。昭和四十四年度巻町一般会計補正予算について

。昭和四十四年巻町・潟東村教育委員会特別会計補正予算について

。三条・燕・西蒲・南蒲広域葬護老人ホーム施設組合への加入について

。固定資産評価審議委員会委員の選任について

(開会中の議会)

県青年大会町予選会

野球の若竹ら郡大会へ

県青年大会球技の部町予選が六月九日峰岡中学校、県立巻農高の二会場で各種目にわたり熱戦を展開しました。

この予選会の各優勝チームは郡大会出場権をかくとく。他チームから補強選手を加え、町最強メンバーで郡大会に出場します。県大会は、巻中学グランドで行なわれる陸上競技を中心に八月二十三日二十四日の二日間、郡内各町村で開かれます。

町予選会の成績は次のとおり。

▽野球(参加五チーム)

決勝　若竹(赤さび)5—0アマチュア野球連盟(赤さび)

一位　若竹

二位　アマチュア野球連盟

三位　竹野町青年団

▽バスケットボール(参加六チーム)

決勝　盤雪クラブ46—45浜松クラブ

一位　盤雪クラブ

二位　浜松クラブ

三位　角田浜青年団

▽バレー男子(参加四チーム)

決勝　巻排球部2—0越前浜青年団

一位　巻排球部

二位　越前浜青年団

三位　松野尾青年団

▽バレー女子(参加五チーム)

決勝　松野尾青年団2—1けんびょう

一位　松野尾青年団

二位　けんびょう

三位　竹野町青年団

▽卓球(参加五チーム)

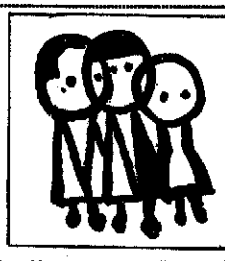
決勝　卓好会4—1竹野町青年団

一位　卓好会

二位　竹野町青年団

三位　松野尾青年団

私たちの仲間



サークル紹介(2)

堤会(つつみ会)

他団体との交歓会も

昭和四十年、旧巻町の若者が青年同志の親睦と仲間づくりを目的に結成したのがこのグループです。

堤会という名前には、仁箇にある堤のように強く美しくそして永続性のあるグループでありたいという期待と願いがこめられています。このグループは昭和四十年頃から盛んになってきた巻町の青年のグループ、サークル活動の最初のものといえます。

会員の職業も家具店、家事手伝い、会社員などさまざまですが、巻公民館を集会場にして皆んなの集まれる毎週土曜の夜、集会を持ち、楽しく学習したり、レクリエーションを行なっています。

本年度の主な事業としては、レクリエーション(ゲーム、ダンス)スポーツ、話し合い、交歓会、パーティ、海水浴、ハイキング、バス旅行、ペン習字などを計画しています。

会長の阿部正文君は、ことしは青年団をはじめとして他のグループとの交歓会を積極的に行ない、仲間づくりを進めて行きたいと抱負を語っています。

毎週土曜の夜公民館で集会をもっていますので、希望者はグループに参加してみてください。

会員は会長の阿部正文君をはじめ佐藤清文、長谷川伊津与、小川正男、渡辺光男、佐藤定男、石田明子、小林カズ江、佐藤ユリ子、西村久美子、石田ミエ子、徳井久代の皆さんです。

国民年金の届け出を忘れずに

国民年金は、加入するときや住所氏名がかわったとき、年金をうけようとするときなどいろいろ手続きが必要です。

つぎのような場合には、あなたは厚生課に用意してある届書に必要なことを書いて、早めに手続きをとりましょう。わからない点は年金係に問い合わせてください。

。資格取得届

二十歳になったとき、また会社などをやめて他の公的年金から脱退したとき。

。資格喪失届

会社や役所に勤めて厚生年金や共済組合に加入したとき。

。氏名、住所変更届

加入者の氏名や住所がかわったとき。

。保険料免除申請書

生活が苦しくて、かけ金ができないとき。

。年金裁定請求書

年金を受けようとするとき。

。死亡一時金裁定請求書

死亡したとき。

たばこは町内で買いましょう

あなたが町内のたばこ店で買ったタバコが年間三千万円にもなり、くらしよい町づくりに貢献しお金となっています。旅行にお出かけの際にもぜひタバコは町内で……

祭りだ〝ワーショイ〟

六月十五、十六日は恒例の巻神社大祭。幸い天候にめぐまれ、近郷近在から数万の人出で近年にない盛り上がりを見せました。

特にこどもたちのかわいらしいたるみこしが人気を集め〝ワーショイ、ワーショイ〟と町内をわり歩き、愛宕神社の相撲大会、夜の花火大会と町中が終日にぎわいました。

「次代は俺らが引きうけた」とばかりに元気なかけ声が響く

農業の道しるべ

米価のあがらない中で

専任技師　西村　欣策

稲の生育が、不作の型をたどったまま「ゴール」だといわれる有効茎のきまる時期にきてしまった。

技術に明るい人たちには、ほんとうに心痛の種である。

ところが、稲の茎の数を、何とか一人前にしたいと、やたらに肥料を投げ込んだ人も多い。

肥料の切れたければならない時期に、猛然と立ち上った、というような稲が、たくさん出て来るのでないだろうか。そこで、稲の型が、すっかりくずれてしまって、ますます米のとれない稲作になって行く人もあるだろう。

その姿を見るにつけても、正しい技術や、正しい判断が、案外もろく崩れてゆくものだ、ということがよくわかる。

豊作続きの中で、豊作の稲になれていて、多少でも変った気象や、変った稲に出合うと、立派な処置が出来るかどうか、そこに、稲作りが、ほんものの技術であったのか、どうかがわかる。

しかも昨年は、早植地帯の稲の立ち上がりが悪く、ことしは、おそ植地帯が悪かった。

その原因はともかくとして、毎年そういう事実の中で、戸惑ったり、悩んだり、あるいは、悲喜こもごもを続けて行くのである。

そこで、もしも中生や晩生が作られていたら、少しくらいの寒さや暑さに、うろたえなくてもよかったのでないだろうか。

早生偏重という経営方式の中に、問題があることがわかってくる。

作業や労力の面でも、人手不足や、労賃の高くなってゆく中で、やたらと、労働のピークを大きくして苦しんでいるやり方である。

こうして、この環境の中で、技術的にも、経営的にも、まだまだ検討すべきことが、たくさんあるようである。

しかも、米価は上らなくなった時代に……。

ふえる離婚、昨年は45組

手続きは慎重に

ここ数年の間、離婚する夫婦の数がふえつつあります。町でも昨年は四十五組ありました。この傾向は全国的なことで、理由はいろいろありましょうが一つの社会問題として注目されます。

わが国の協議離婚の届け出は、その夫婦が役場に届け出をすることで成立いたします。届け出についてはお互いの話し合いがまとまってなされるのが原則です。

けれども、中には夫婦間で十分な協議がなされないまま、あるいは全く相手の知らないうちに一方的に出されるものもあるようです。しかし、協議離婚とは、お互いがその気持ちとなり、届け出することによって効力を生じるものですから、双方の意思にもとづかない協議離婚は無効です。

離婚届けが役場に出されますと書類の上で間違いがなければ、一応受付付けられます。戸籍もそれに基づいて、それぞれ記載されますが、他方の配偶者など利害関係のあるものから、届け出られた協議離婚は無効であることを確認してもらいたいとの申し立を「家庭裁判所」にできることになっています。家庭裁判所では比較的簡易で費用のかからない方法によって、審判をし、戸籍をなおすことができます。

次に離婚とその届け出との関係で問題になるのは、事実は別居していて夫婦の実体が全く存在しない状態にありながら、届け出をせず戸籍だけ夫婦となっているものがあることです。

このような状態にあること自体決して望ましいことでありませんが、こんな状態が長い間続くと、いろいろめんどうな問題（たとえば、夫と他の女の間にこどもが出来た場合など）が、起きますから早く解決された方がよいと思います。

終戦後、婚姻、離婚に対する一般の倫理感、家族意識のかわりなどに伴って、ささいな感情のもつれから冷静さを欠いてすぐ届け出してしまうような例も多くあるようです。

家庭はまさしく各自の生活の本拠であり、次の世代をになう子女を養育する場でありますが、離婚はこれを破壊へみちびくものです。

問題が起き、いろいろ悩まれておられる方は放っておかず、できるだけ早く民生委員、役場相談室または家庭裁判所などへ相談され正しい解決に至る努力を払われるよう願っております。

戦没者叙勲

今回は三十九人

第五十七回、第五十八回、第五十九回の戦没者叙勲が発令になりました。

六月十九日役場議場で伝達式を行ない、江端町長からご遺族に勲記勲章を手渡しました。

なお今回叙勲を受けられた方は三十九人で次のとおりです。（　）は遺族名。

◎陸　軍

〔勲六等旭日章〕

近嵐与次郎（松野尾、ハル）

〔勲七等青色桐葉章〕

佐藤一郎（伏部、ムラ）

〔勲七等旭日章〕

佐藤伝二（並岡、佐吉）、桜沢寿四郎（九区、チヨ）、金子健蔵（越前浜、ヒメ）、川島嘉一（三区、スガ）、玉木三芳（四区、ヨシ）、唐見与三吉（角田浜、フユ）、徳吉七郎（一区、昭吾）

〔勲八等旭日章〕

石田清一（七区、チヨ）、山本幸男（八区、博勝）、宮倉太兵衛（松野尾、ヨシ）、金子太重二（四ツ郷屋、サイ）、長谷川健吾（河井権治）五伝木甚一（町組、リセ）小名平治（一区、トク）、伊丹信次（大原、末司）、五十嵐理（潟頭、九衛門）、山下精橋（越前浜カン）、池内嘉七（一区、カネ）阿部貫市（中組、登良二）、長谷川正雄（並岡、ミツエ）、加藤市四郎（潟頭、ハナ）、篠沢熊次（越前浜、熊一）、阿部惣蔵（角田浜、ヨシ）、近嵐正二（興業第一ミカ）、小池智孝（二区、能雄）大塚未松（六区、栄）、田村徳衛（桜林、セキ）、小林勝夫（四区、繁尾）大滝今治（一区、土田勝宣）、奥村時司（漆山二の丁、ハト）、高杉源太郎（四ツ郷屋、清吉）

〔勲八等瑞宝章〕

山本善逸（前組、キヨ）

◎海　軍

〔勲八等旭日章〕

鹿児島惣一郎（仁箇、マサ）、大越仁一郎（三区、一二）、佐藤三治（漆山七の丁、ソイ）

〔勲八等旭日章〕

野沢一男（七区、ハル）

事業所の統計調査

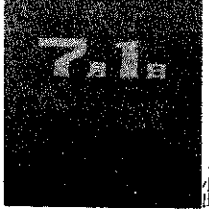
調査員にご協力を

ことしは、三年目ごとの事業所統計調査の年。

町内の全事業所を対象に事業の種類、従業員数などを調べます。調査員が七月五日までに調査に回ることになっていますので、ご協力をおねがいします。

なお、調査内容は絶対に秘密が守られ、統計以外の目的には使われません。

つぎに調査員をご紹介いたします。



氏名	調査区
真田　滋	城
野口スズノ	角田地区
青木　一	松野尾地区
	五ケ浜、角海、二部落
阿部　昭	峰岡地区
川村　勲	峰岡地区
高橋　政暉	五郎落、巻地区
久保田靖文	巻地区
有田　捨雄	巻地区
棚辺　辰男	巻地区
間宮　英夫	巻地区
小出　敬三	巻地区
久須美祐一郎	巻地区
岡島　金一	巻地区
太田仲太郎	巻地区
土田　金男	巻地区
土田　寅平	巻地区
佐藤　昭松	巻地区
朝妻　良夫	巻地区
野沢　茂保	巻地区
河治　冬樹	巻地区
田辺　仁	漆山地区
相模　正寿	漆山地区
小林　作次	漆山地区

44年身障者協会総会

会員の福祉に多彩な事業

六月十八日正念寺で第四回巻町身体障害者福祉協会（会員三百九十一人）の総会が開かれました。

目、耳、体の不自由な会員五十人が出席。

田中高次会長が議長となり、議事が進められ全議案原案どおり承認されました。会員の福祉向上をはかるため、四十四年度は障害別代表者懇談会、身障者大会参加、研修旅行、指導者研修会など多彩な事業計画が組まれています。

（総会に出席した会員）

お知らせ

測量にご理解を

巻電々公社

日本電信電話公社では、ますますふえる電話の需要に応するとともに、設備の改善をはかるため、巻町全域にわたり、七月上旬ごろまで測量を行なっています。

測量の結果、電柱、支線などの新設。または、地下ケーブルの埋設のため、新たに土地使用権の設定を必要とする場所にはくい打などをいたしますが、その折には用地担当の係り員が土地所有者（管理者または占有者）にじゅうぶん説明し、ご承諾をうるようにいたしますのでご承知願います。

また、測量や実地調査の場合はほとんど土地などには損害を与えませんが、やむを得ず損害を与えましたときには正当な補償料をお払いいたします。

以上の点を十分ご推察のうえ、測量にご協力ください。

保母試験の日程

保母資格取得希望者のため、新潟県をはじめ各都県で次のとおり保母試験が行なわれますのでお知らせします。

なお、他県で合格した科目は本県でも同等の効力があります。

都県名	受験講習会	試験日
新潟県	12月	2月
神奈川県	7月3日～11日	8月18日～23日
千葉県	7月	8月，3月
埼玉県	6月	8月下旬
長野県		7月30日～8月2日
東京都		8月16日，17日 29日，30日

宇奈月温泉でくつろぐ

第5回長寿旅行記　館鉄馬（4区老人クラブ）

第五回郡老連長寿旅行が六月六日、七日一泊がけで行なわれました。巻町老連は一行六十九名。巻駅前に集合したのは二十二人（二号車）その他四ツ郷屋、松野尾、峰岡方面が一号車、三号車は西川町、潟東、葎山方面でみな小雨降る中を定刻の七時三十分に出発し、車中の人となって、ようやく落ち着きました。

車窓から眺める風景は、格別で二号車では途中葎生津辺から乗る人もありました。分水町役場前で一号、二号、三号車が終結し、一路宇奈月へ向って走りました。車内で左利きは酒やウイスキーでほろよい気嫌。ガイドさんの説明に次いでお得意の唄の数々が、披露され楽しくきいたり、うたったりしました。

大潟ドライブインで昼食をとり、親不知では十五分間の休憩がありましたが、せっかくの景色が雨でかすんでおり残念でした。

宇奈月へは予定より早く三時半頃着き、小柳館と金山館へ分宿となりました。それぞれ旅装をといて客人となり、入浴を楽しむ。湯は四十一、二度温度で透明、あたたまりもよく、良い温泉でした。六時の夕食会で一同顔を揃え、賑やかに宴会を終し、河内屋旅館主人の経営する築四階建（昭和三十八年新築）を見学した。古美術展、仏像、鎧かぶと等四千点もあり、館主が二十四歳の時から六十年間で蒐集したものとのことでただ、珍しく拝観いたしました。

七日午前九時三十分、宇奈月を出発し、帰路につく。行きの逆コース親不知ドライブインにて昼食、少々天候が悪く寒かったが、親不知の難所を一望におさめました。

帰りのバスの中では、昨夜の湯のこと、みやげ物の話に花が咲き、ガイドさんの思いつきクイズ遊びも飛び出し、みんな楽しく過しました。

大潟ドライブインで休憩して、分水町役場前に戻り乗換えて、一号車、三号車の皆様に別れを惜しみ、二号車は巻町へと走る。午後四時到着。各自、家へ急ぎました。